

事業の進捗を測定するための指標【市政戦略編】

戦略1 こどもの夢を育み、夢へのチャレンジをみんな で応援するプログラムの展開

【夢・チャレンジ応援制度の創設】

・基金に積み立てられた寄付金額 ※

基準値 — 目標値 (H30年度) —

【夢を育む環境の創出】

・夢育み事業に参加したこどもの数

基準値 — 目標値 (H30年度) 2,600人

戦略3 在宅医療・介護、見守り体制の構築

【在宅医療の推進】

・在宅で医療を受けている市民の数

基準値 (H25年度) 286人 目標値 (H30年度) 480人

・在宅で看取りを受けた市民の数

基準値 — 目標値 (H30年度) 200人

戦略2 次世代成長産業を含むバランスの良い産業集 積の形成

【企業立地の推進】

・次世代成長産業分野に属する新規企業の累計数

基準値 (H24年度) 0件 目標値 (H30年度) 3件

戦略4 “元気”と“支え合い”の地域循環による「都市の 活力」と「暮らしの安心」の創造

【(仮称)ありがとう地域ポイント制度の創設】

・1年間に地域活動ポイントを受け取った人の数 ※

基準値 — 目標値 (H30年度) —

【市内限定商品券の流通拡大】

・市内でプレミアム商品券が使える店舗数

基準値 (H24年度) 588店 目標値 (H30年度) 633店

【地域協議会の設立による地域活動の活性化】

・地域協議会が組織された数

基準値 — 目標値 (H30年度) 16組織

※ 目標値は制度設計中のため「—」。制度創設後に設定します。

新基本計画に寄せる期待

小牧市総合計画審議会会長(北海道大学公共政策大学院教授) 宮脇 淳

少子高齢化やグローバル化が急速に進み、日本社会が大きく変化する中で、自治体経営において小牧市が新しい挑戦を始めています。その起点がこの「第6次小牧市総合計画新基本計画」です。新基本計画では、市民・議会・行政が今まで以上に役割分担と連携を行うことを前提に、地域の持続的発展への方向性を見据え5年間の政策の柱を明確にするとともに、機動的な自治体経営の仕組みの導入を意図しています。

このように、地域の文化に根差した一歩先を見据え新たな総合計画の姿を模索する小牧市の姿勢は、自治体経営の基本として日本の自治体をリードする役割を担っています。

新基本計画の政策は、様々な考え方・価値観を持つ市民が常に議論し、より良い内容を求め続けるものであり、100点に一步でも近づけることはできても100点というゴールに到達することはありません。今回の新基本計画策定の過程においても、議会から多くの意見を頂くとともに、市民の皆さんを中心に構成された審議会でも様々な角度から100点に一步でも近づけるための議論を行いました。

日本の地方自治体の先駆的取組として動き出した新基本計画をより良い姿にするためには、新基本計画に関連する情報を市民・議会・行政が常に共有しつつ議論し、予算や条例など様々な角度から市民や議会のチェックと助言を受け、進化させ続ける必要があります。すなわち、行政から「与えられる自治」から、市民・議会・行政がともに「生み出していく自治」への進化と言い換えることができます。

この新基本計画の実施に際して、地域の問題や進むべき方向性について形式にとらわれず市民・議会・行政の間で常に情報共有し、従来にも増して実質的な議論を展開することができるよう、市民の皆さんも「生み出していく自治」の担い手となることを期待しています。



第6次小牧市総合計画 新基本計画

発行日：平成26年3月

発行：小牧市

編集：小牧市市長公室市政戦略課 〒485-8650 愛知県小牧市堀の内三丁目1番地

TEL:0568-76-1105(直通) FAX:0568-71-3138 E-mail:shisei@city.komaki.lg.jp